

英語の基礎 - 3

☆「発音記号」① <発音記号の説明>

『母音』・・・日本語の「あ、い、お、え、お」に相当する音だが、英語では次のような音になる。

「**a**」・・・「あ」よりも口を開けて、のどの奥のほうから「ア」と発音する。
park (公園) father (父親) car (車) arch (弓形)

「**æ**」・・・くちびるを横に閉じて「ア」の音を出すつもりで「ア」と発音する。
apple (りんご) stand (立つ) hat (帽子) cat (猫)

「**ə**」・・・口をあまり開かず「エ」に近い「ア」。
lemon (檸檬) about (およそ)

「**ʌ**」・・・日本語の「ア」に近い「ア」。
strut (突進) bud (芽) but (地下鉄)

「**i**」・・・「イ」に近い「イ」。
kit (キット) machine (機械) machine (機械) れる。

「**u**」・・・「ウ」に近い「ウ」。
put (置く) but (地下鉄) but (地下鉄) 。

「**e**」・・・「エ」に近い「エ」。
dress (ドレス) dress (ドレス) 。

「**o**」・・・「オ」に近い「オ」。
goat (山羊) goat (山羊) 。

「**ou**」・・・「ウ」に近い「ウ」。
goat (山羊) goat (山羊) 。

「**i:**」・・・「イ」に近い「イ」の長母音。
eat (食べる) machine (機械) peach (桃)

「**ɔ:**」・・・のどの奥のほうから「オ」に近いこと。『長母音』
ball (ボール) call (呼ぶ)

「**j**」・・・「イ」の音からすぐに次の母音に移るときの音。『半母音』と呼ばれる音。
year (1年) young (若い) yellow (黄色) yes (返事のハイ)

「**w**」・・・「ウ」の音からすぐに次の母音に移るときの音。『半母音』と呼ばれる音。
week (一週間) wool (羊毛) wolf (狼) one (数字の1)

桐生進学教室では、このような「古典的」な英文法から指導してゆきます。なぜなら『英語』の目標を、“会話”ではなく“学問的な論文の読解力”に置いているからです。発音も、何の予備知識が無いままに外国語を聞いても日本語の音の範疇でしか認識できないことの方が多く、耳から入ってくる発音だけでは不十分だと考えるからです。(例えばライトやバスなどの音)英語の音の種類に慣れるまでは、この様に「発音記号」を使って目と頭を使ってその上に自分で発音しながら意図的に練習してゆくことが重要です。